

# 給食だより

さいたま市立土呂中学校



令和 7年1月 給食室

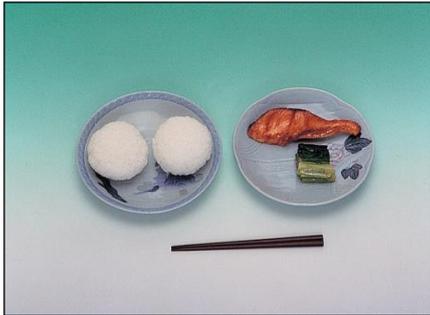
年が明け、新しい1年が始まるとともに、学校では1年のまとめとなる3学期が始まりました。寒さも厳しくなり、感染症が流行する時期ですので、引き続き、給食前の手洗い・消毒の徹底を心がけて感染予防に努め、元気に冬を過ごしましょう。

1月24日～30日  
全国学校給食週間

## 給食の歴史

学校給食は、明治時代、山形県鶴岡市で昼食を持っていくことのできない子供たちにおにぎりと漬物を用意したのが始まりです。第2次世界大戦で中断されましたが、戦後また始まり、ユニセフからのパンと脱脂粉乳の給食で栄養不足の子供たちを救ったのです。これを記念して設けられたのが学校給食週間です。

当時を振り返り食べ物に感謝し、食生活を見直したりする1週間です。土呂中学校では、さいたま市の友好都市（中国：鄭州市・メキシコ：トルーカ市）の献立や、鯨を使った料理、すいとんなど昔よく給食にでていたメニューを取り入れています。また、28日には生徒会朝礼で、給食週間の歴史や、残食調べ、給食とSDGsについて給食委員会による発表をおこないます。



明治22年  
おにぎり、塩鮭、菜の漬物

当時はシンプルな食事でした。給食では24日に、魚（アジ）の塩焼と浅漬けが登場します。



昭和17年  
すいとんのみそ汁

戦争が始まり食糧不足だった当時の給食。土呂中でも24日にすいとんが登場します。



昭和22年  
ミルク(脱脂粉乳)、  
トマトシチュー

戦争が終わっても食糧不足が続いていましたが、食べ物は近代化、西洋化が進みました。



昭和27年  
コッペパン、ミルク(脱脂粉乳)、  
鯨肉の竜田揚げ、千切りキャベツ  
ジャム

支給された小麦粉や脱脂粉乳のほか、鯨肉も昔は貴重な栄養源として給食によく出ていました。土呂中でも28日に鯨が登場します。



昭和39年  
揚げパン  
ミルク(脱脂粉乳)、おでん

昔のパンはボソボソしていて今のもののようにおいしくなかったため、おいしくする工夫として【揚げパン】が考え出されました。給食からうまれた最大のヒット商品といってもいいでしょう。土呂中では30日にきなこ味が登場します。



昭和60～平成14年  
(旧大宮市内 中学校)  
白飯、牛乳、ポークカレー、  
サラダ

以前の土呂中の給食は給食センターから配送されるお弁当箱にはいった給食でした。（その前は各自弁当持参）現在のように、校内に給食室ができて自校給食となったのは今から約20年前です。

# 学校給食食材の産地と食品の検査結果について

さいたま市教育委員会  
さいたま市立土呂中学校

## ～給食で使用している主な食材の産地～

本校の学校給食で使用している給食の主な食材は以下のとおりです。食材においては、流通経路を確認し、安全な食材を使用しています。

### ○通年

主食の米や小麦粉は、(公財)埼玉県学校給食会が選定し、牛乳は県が供給業者を決め、各学校に届けられます。

これらは、市立小・中・特別支援学校で共通食材となっています。

		食材	産地
共通食材	主食	米	埼玉県
		小麦(パン・麺)	埼玉県、アメリカ、カナダ
	牛乳	牛乳	北海道、岩手県、宮城県、福島県(一部)、栃木県、群馬県、埼玉県、新潟県、秋田県、山形県

12月2日 ～ 12月20日

		食材	産地実績
青果類		里芋	薄田農園(土呂)
		大根	薄田農園(土呂)、埼玉、神奈川
		小松菜	さいたま市
		チンゲン菜	埼玉
		くわい	埼玉
		きゃべつ	埼玉
		大根	神奈川
		ブロッコリー	埼玉
		かぶ	埼玉
		ほうれん草	埼玉
		きゅうり	埼玉
		じゃが芋	北海道
		玉ねぎ	北海道
		ごぼう	青森
		にんにく	青森
		長ねぎ	青森
		えのき	長野
		しめじ	長野
		エリンギ	長野
		にら	栃木
		もやし	栃木
		れんこん	茨城
		白菜	茨城
		こねぎ	茨城
		水菜	茨城
		パセリ	千葉、
		にんじん	千葉、
	生姜	高知	
	ミニトマト	熊本	
	かぼちゃ	メキシコ	
	りんご	山形	
	ゆず	高知	
肉類		豚肉	埼玉、青森、岩手、北海道
		鶏肉	岩手
魚類		カレイ	アメリカ
		えび	インド、パキスタン
		いか	ペルー、チリ
		あさり	中国
その他		鯖	ノルウェー
		切干大根	宮崎
		昆布	北海道
		鶏卵	埼玉
		ひじき	大分、長崎
		干しいたけ	九州、四国
		きくらげ	九州、四国
	わかめ	徳島	
	海苔	瀬戸内海	

※調味料、加工食品等は記載しておりません。検収記録簿に記載しております。

## ～食品検査結果について～

### ○国による食品の放射性物質の新基準

放射性セシウム	一般食品	100Bq/kg
	飲料水	10Bq/kg
	牛乳	50Bq/kg

### ○埼玉県等における検査について

#### <埼玉県の検査結果>

12月12日現在

平成29年に国のガイドラインが大幅に改正され、埼玉県は「栽培/飼養管理が可能な品目群」(野菜、果樹、茶、きのこ類、原乳、畜産物、水産物<内水面魚種>)欄の調査対象自治体から除外されることとなりました。

それにとまない、平成28年度までは、県のホームページに調査結果がほぼ毎週公表されていましたが、平成29年度からは四半期毎(3か月に1度)に公表されることになりました。

したがって、埼玉県の検査結果については、県から公表があった月に結果を掲載いたしません。

詳しくは、県のホームページをご覧ください。

#### <(公財)埼玉県学校給食会の検査結果>

12月12日現在

検査依頼日		品目	検査結果	
月	日		放射性ヨウ素	放射性セシウム計
10	21	精白米(統一規格米)	<1.4	<3.4
10	18	小麦粉(パン・うどん用)	<1.7	<4.2
10	18	小麦粉(パン・ソフトめん用)	<1.7	<3.7
10	23	小麦粉(中華めん用)	<1.6	<4.8

※「<(数値)>」とは、検査機器で測定できる検出限界値未満であることを示します。

詳しくは、(公財)埼玉県学校給食会のホームページをご覧ください。

#### <牛乳の検査結果>

12月12日現在

製造日		品目	検査結果
月	日		放射性セシウム計
12	9	学校給食用牛乳(製品)	50Bq/kg以下

※測定下限値は50Bq/kgです。

※学校給食で使用される牛乳は、月1回、(財)日本乳業技術協会による製品検査を受けています。

### ○さいたま市における検査について

本市では、市内農産物と市内に流通する市外産農産物等の検査を実施しています。この検査では、生産段階及びそれに近いところで採取することにより、基準値を超える結果が出た場合には、直ちに出荷等を止めるなどの対応をとります。

#### <さいたま市の検査結果>

12月12日現在

採取日		品目	検査結果		
月	日		放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
8	22	(青森県)だいこん	<1.72	<1.82	<3.5
10	10	(茨城県)きゃべつ	<0.706	<0.761	<1.5
10	10	(長野県)ブロッコリー	<2.11	<2.28	<4.4

※結果欄の「<(数値)>」は、検出限界値です。詳しくは、さいたま市のホームページをご覧ください。

(単位はBq/kg)

